

施設の安全性は確保されているか		評価点				
		指定管理者	担当課	評価委員会		
B 安全性 の 確保	1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応 など	3.0	3.0	14.8 (満点20点)	
	2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案 など	3.0	3.0		
	3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理 など	5.0	4.0		
	4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知 など	5.0	5.0		
指定管理者 記入欄	【アピールポイント】全館で行っている防災訓練はこれまで避難訓練と消火器訓練を実施していた。図書館や学習センターが併設されている強みを活かし、紙芝居や起震車体験などイベントを組み合わせることで、来館者の興味を引き、防災訓練への参加を促した。また、防犯対策として館内環境整備を行い、見通しの良い書架づくりを行った。					
	【改善すべき点・課題等】駐車場での転倒事故を受け、アスファルト再舗装など、区の施設計画係と連携しながら進めていく。 物品移動中の落下による自動貸出機の破損事故が発生したため、全職員に注意喚起し、作業手順を再確認し再発防止に努める。児童の利用が増えて来ているため、交通安全や防犯対策を館内施設一体となって取り組んでいく必要がある。					
	【特記事項】項目3の駐車場管理について、場内の堀沿いにあった段差に利用者がつまずき転んで骨折する事故が発生したことは、日頃の安全管理不足であると考え、水準点より1点減点する。段差には砂利を敷き詰めて応急処置を行ったが、今後はアスファルトの再舗装などについて、センターと区で連携しながら検討していく。一方で、図書館内の安全面の確保や適切管理に取り組んだ。転倒に繋がりをうる箇所に印をつけ利用者の安全面を確保し、書架整理や館内装飾を施し、見通しがよい書架づくりにより防犯対策を講じた点で、水準点に2点加点する。項目4について、危機管理対応として、複合施設内の部署（児童館、学童保育室、区民事務所）と日頃利用されている来館者も参加する防災訓練を実施するなど適切に行われている。防災訓練では、防災紙芝居の読み語りをを行い、併せて館内での特集展示においては貸出に結びつくなど特に子どもたちの防災意識の向上にも繋がったと考えられる点を評価する。					
	【評価すべき点】来館者、複合施設職員と防災訓練を実施し、防災意識向上に努めており評価する。イベントと組み合わせて参加者を巻き込む工夫をしており、防災訓練の避難先での紙芝居は子どもの参加の増加に有効であった。 【改善すべき点】駐車場内の段差で転倒し骨折にまで至る事故が発生したことは改善が望まれる。 【その他注意点】					
区記入欄						
評価委員会 記入欄						
C 法令等 の 遵守 (※倫理 性も含 む)	個人情報保護、各種法令等は遵守されているか		評価点			
			指定管理者	担当課	評価委員	
	1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施 など	5.0	4.0	9.8 (満点15点)	
	2	個人情報事故への対応 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	5.0	3.0		
	3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	3.0	3.0		
	指定管理者 記入欄	【アピールポイント】とねりマルシェや舎人ふるさと大会への参加申込方法を、申込書の提出からGoogle Formsでのオンラインでの申込に切替を進め、個人情報紛失リスク低減と利用者の利便性向上を図った。個人情報関係法令の改正に合わせ、漏えい事故対応や公表についての考え方などマニュアルのアップデートを進め、職員研修を行いながら、事故防止に努めた。				
		【改善すべき点・課題等】個人情報保護について毎年法令や制度変更があるため、随時対応し、確実な運営を行なっていく。				
	区記入欄	【特記事項】項目1について、個人情報保護の取り組みは施設運営の基本的事項と考えるが、オンライン申込への切替を進めるなど漏洩リスクの低減に取り組み、副次的に利用者の利便性が向上した点で、水準点に1点加点する。項目2について、個人情報の適正管理として従業員の教育やマニュアルの適宜見直しを行っているが、基本的事項のため加点しない。				
		【評価すべき点】個人情報の電子化促進、研修会実施、マニュアルの見直しなど適切な対応を行っており評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】				
	評価委員会 記入欄					

	適切な財務運営・財産管理が行われているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 適切な財務・財産管理	1 適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和5年度収支（612千円） ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備 など	5.0	4.0	4.0 (満点5点)
	指定管理者記入欄 【アピールポイント】これまでExcelで管理していた帳簿類を、クラウド型会計システムへ集約するなど、会計処理のフローを見直し、財産管理の確実性を高めた。インボイス制度の適用に合わせて、インボイス制度対応マニュアル作成と制度理解のための職員研修を実施することで、講師・利用者含め、混乱なく制度変更へ対応した。			
	区記入欄 【改善すべき点・課題等】インボイス制度や価格高騰を受け、事業経費の増加が見込まれるため、事業収支の見直しを進める必要がある。			
	評価委員記入欄 【特記事項】日常の入出金管理、運営予算管理は適切に行っている。インボイス制度の適用開始にともなう対応は通常業務の範囲内であると考えるが、ミス防止および制度理解のために事前のマニュアル整備、研修に取り組んだ点で水準点に1点加点する。			
	評価委員記入欄 【評価すべき点】日常の入出金管理、インボイス制度への対応など、財務・財産管理を適切に行っている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

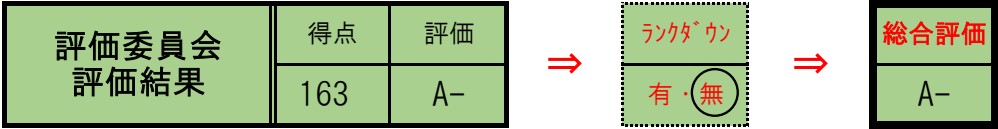
大項目	中項目	確認項目		
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか	評価点	
			指定管理者	担当課
				評価委員
		1 利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、SNS、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	3.0	3.0
		2 A型事業（事本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆A型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0
		3 B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0
		4 C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	3.0	3.0
		指定管理者記入欄 【アピールポイント】今期はとねりマルシェを核とし、出店者向け講座や、SNSでの広報にも注力した結果、来場者数は昨年度の2倍となった。Instagramでのライブ配信は2日間で再生数1000回を超えマルシェのPRに大いに貢献した。子どもの居場所づくり事業にも力を入れ、ボードゲームの貸出や、学習スペース事業など、子どもたちが館内各所で過ごせる環境づくりを行った。	16.0 (満点20点)	
		区記入欄 【改善すべき点・課題等】周辺環境の変化に伴い、ニーズの減ってきた講座があるので、再編成を検討する。		
		評価委員記入欄 【特記事項】項目2について、とねりマルシェ出店予定者向け講座は、経験者が講師となりノウハウ・情報を提供することで、初出店へのチャレンジを後押しし、新規参加者獲得につながった点を評価する。項目3について、フリースペースで遊べるボードゲームの貸出や工作講座の開催など、子どもの居場所としての施設利用を促進し、フリースペース利用者は昨年度の約1.2倍となった。		
		評価委員記入欄 【評価すべき点】マルシェ初参加者向け講演会は参加者にも好評であり、新規参加者の獲得に加え、講演者が作家から講師等へのステップアップの場となったことも評価する。フリースペースでのボードゲーム貸し出しは、子どもの居場所づくりとしての意義も大きい。利用人数も増え価値のある場所となっている。 【改善すべき点】 【その他注意点】		

	施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
B 学習支援の取り組み	1 生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、利用者懇談会の運営 など	5.0	4.0	14.0 (満点15点)
	2 区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携 など	5.0	5.0	
	3 地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域との連携 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】各所へマルシェのアウトリーチを実施した。令和5年4月に、4年ぶりに開催された舎人公 園千本桜まつりへ出店し、舎人地域以外の区民にもセンターや事業の情報を届けることが出来た。児童養護施設 で開催されたヴィレッジマルシェに出店しPRを行い、そこでのつながりから新規のとねりマルシェ出店者を獲得 した。地域包括支援センター、ギャラクシティ、足立再生館、大成コーポレーション、ヴェールポイントなど近 隣の施設や団体との連携講座を開催し、センターのPRと地域の魅力の掘り起こしを行うことが出来た。		
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】サークルの高齢化に伴い、活動継続のサポートが必要になってきているため、支援講 座の充実など図る。		
	評価委員記入欄	【特記事項】項目1について、コロナ禍で中止していた高齢者施設へのサークルアウトリーチ再開の調整を行 い、サークル活動を地域へ広報する機会を設けた。また、サークルの活動意欲向上に取り組んだ点を評価する。 ただし、サークル加入者の増加には至らなかったため、水準点に1点加点するにとどめる。項目2について、千本 桜まつりへの初アウトリーチ事業で、多くの来場者にブースへ足を運んでもらいPRにつながった点を評価する。 項目3について、昨年度末に立ち上げたガーデニングボランティアの活動を支援し軌道に乗せることで、ボラン ティア増加の成果も得られた。		
	評価委員記入欄	【評価すべき点】千本桜まつり出店によるアウトリーチ活動も積極的に行い、マルシェ認知度の向上に貢献し た。地域住民によるガーデニングのボランティア養成、地域企業との連携によるワークショップなど、地域連携 事業にも工夫が見られる。また、サークル活動支援として介護施設と連携しサークルアウトリーチ事業を再開さ せたことを評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】		
C 図書館事業の取り組み	仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果 など	5.0	5.0	9.8 (満点10点)
	2 読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果 など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】書架やラベルの刷新を行い、視認性を上げると共に、車椅子の方でも本を手に取りやすい 棚を作るなど、誰もが本と出会える書架づくりを行った。図書館総合展でのつながりから、公益財団法人文字・ 活字文化推進機構や合同会社ケインズとコラボした特集やイベントを行い、新しい体験や気付きを提供するこ とが出来た。千本桜まつりや子ども食堂へのアウトリーチを重ね、センター外へも本と触れ合うきっかけを広げ た。		
	区記入欄	【改善すべき点・課題等】今年度出来たつながりを、より強固にし次年度以降の事業に繋げていく。図書館だけ での事業実施には限界があるため、地域学習センターと一体となり、共同事業を企画する。		
評価委員記入欄	【特記事項】令和5年4月と令和6年3月に開催された舎人公園千本桜まつりへの出展では、「本のとらば一ゆ」が 2回の合計で1,000冊近い配布の実績を挙げ、図書館の大きなPRの場となり、施設の利用促進にも繋がったと考え られる。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】りんごの棚とは別に大人向けのLLブック・大型活字本を車いすでもアクセスしやすい場所に配 置した点は、評価できる。生活実用書の面出し配架の工夫やラベルの刷新など視認性をあげるための取り組みも 評価できる。また、あだちこども食堂へのおはなし会、七夕おはなし会、ハロウィンおはなし会など、一般・児 童対象の読書推進イベントにも楽しめる工夫が凝らされており、図書館の利用促進につながったと考えられる。 【改善すべき点】自ら活動拡大に取り組んでもらいたい。 【その他注意点】		

	適切な利用状況となっているか (環境の変化など外部要因を考慮)	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
D 利用の 状況	1 学習施設・体育館の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設55%	3.0	3.0	7.0 (満点10点)
	2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数(148,783人) ※基準値/147,504人 貸出冊数(183,130冊) ※基準値/180,487冊	4.0	4.0	
	指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】昨年度の図書貸出冊数の減少を受け、今期は年間を通じて読書推進イベントを実施したことで、貸出冊数の増加に繋がった。長期休業期間の子どもの居場所づくりとして実施している学習スペースの開放事業は、子ども達に定着してきており、副次的に図書館内の混雑回避にもつながっている。		
	区 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】図書館での体験事業やイベントを増やし、本を借りるためだけでなく、図書館の利用方法を提案する。		
	評 価 委 員 記 入 欄	【特記事項】学習施設の各諸室は、昨年度と比較して4～7%上がっているが、教養室のみ約5%下がっている。下がった要因を分析し、来年度向上するよう努力してほしい。項目2について、年間を通じた読書推進イベントの実施や、アウトリーチ事業の一つとして出展した舍人公園千本桜まつりでの図書館PRなどにより、利用者数、貸出冊数ともに基準値を達成した。加えて貸出冊数前年比増加率の加点基準を達成したため、1点の加点とする。		
		【評価すべき点】アウトリーチ事業でのPRにより、舍人地域学習センター・図書館の知名度向上につなげた。利用は基準を超えた数値となっている。 【改善すべき点】教養室については他センターの成功事例も参考に改善されたい。 【その他注意点】		
E 3分野 連携事業	3分野連携事業を計画通り実施しているか	評価点		
		指定管理者	担当課	評価委員
	1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信(プッシュ型情報発信)をしているかなど	5.0	5.0	5.0 (満点5点)
	指定 管理 者 記 入 欄	【アピールポイント】すでに集客がある関心喚起プログラムの「ちょいトレ」から促す、行動生起プログラムとして、「バランスボールでヨガストレッチ」を新設した。年間を通じて継続開催しており、参加者も定着して軌道に乗ってきている。また強化月間に合わせてオリジナルプレゼントを企画し、課題であったLINEのターゲットリーチ獲得にも成功した。		
	区 記 入 欄	【改善すべき点・課題等】開催時間帯によっては、集客の悪かった講座もあったため、再編成を行う。		
		【特記事項】3分野連携事業のSNS登録およびアンケート取得促進については、オリジナルプレゼントの工夫によりアンケートを160件回収できた。また、新規目玉事業「バランスボールでヨガストレッチ」での参加者獲得および定番化を評価する。また、多彩なプログラムを企画し、昨年度よりプログラム種別を6種類増加させたことも評価できる。一部、集客が上手くいかなかった講座は見直しを行い、周知や企画の準備期間を十分考慮した計画を立てるように努めてほしい。		
		【評価すべき点】3分野連携事業についてもガチャガチャ活用のLINE登録促進、地域人材活用イベントの実施など、創意工夫が見られる。関心喚起プログラム(M1)から行動生起プログラム(M2)への接続を想定したプログラムを設置し、参加促進に成果を上げている。 【改善すべき点】 【その他注意点】		

		5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか。 (評価点×3)	評価点×3		
			指定管理者	担当課	評価委員
F 主要事業の企画・実施・成果	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			22.8 (満点30点)
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】5カ年計画の最終年度として、これまでのマルシェ参加者の、出店だけでない新たな活躍の場を作ることに注力した。出店経験者が講師となって、自身のスキルやノウハウを新規参加者へ共有する機会を設けたり、センター外の千本桜まつりへの出店を呼びかけたりした。また、区民が主体となってイベントを運営していくために、マルシェ実行委員会を事前に2回開催した。出店者は、実行委員としてとねりマルシェを自分ごととして捉え積極的に提案し、SNSでの広報などにも意欲的に取り組んでいる。とねりマルシェのこれまでの発展を通じて、5カ年計画である「人々が交流し学びあい、主体的に活動する場を創出する」ことが出来たと考える。			
		【改善すべき点・課題等】参加者が増えているため、マルシェの回数を増やし、参加機会を増やす必要がある。			
	区記入欄	【特記事項】マルシェ実行委員会を中心とした積極的な運営を実施できた。出店後の活躍機会の創出、千本桜まつりへの出店など、センター内から地域へのさらなる広がりが期待できる最終年となった。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】マルシェの年度内2回実施、千本桜まつり出店など、目標通りマルシェを成功させた。出展者が主体的に事業参加し、参加者も増加している。マルシェの拡大に伴うスタッフの増員などは特段行っておらず、労力をそれほど消耗することなくこの状況を作れたことは高く評価する。出展経験者が講師となる学びと交流は興味深い。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
G 利用者の満足度(評価点はアンケート調査等による)	利用者の満足を得られているか(評価点×2)		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4.3 _(×2)	33.2 (満点40点)
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示 など		4.7 _(×2)	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙 など		4.0 _(×2)	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上 など		3.6 _(×2)	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】接遇対応のスキルアップを図った結果、スタッフの接客対応について昨年度以上に多くの評価の声をいただいた。朝スッキリヨガをはじめとしたヨガ教室やいきいき体操などの定例講座も好評で追加開催の要望も出ている。 【改善すべき点・課題等】15～29歳の世代が利用者として極端に少ないことが見て取れる。この若い世代が来館しやすい環境づくりや、来館したくなるような事業、講座の実施を検討していく。			
	区記入欄	【特記事項】運営満足度は、昨年度を上回る水準であり接遇や事務手続きの正確さに対する満足度が高い。多様な方が快適に安心して利用できるよう、人材育成の強化を期待する。事業満足度、事業効果は昨年度と同水準だった。来年度は事業責任者および社会教育担当者を配置することから、市場調査に基づく企画立案、新規開拓、登録団体の活動機会の拡大等の強化による利用者満足度向上を期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】スタッフの接遇、施設整備、案内表示、今後の継続利用等のアンケート項目で高い満足度を得られており、全体的に昨年度より評価が高くなっている。 【改善すべき点】 【その他注意点】図書館利用者アンケートの「高齢者・障がい者・外国人などにもスポットを当ててほしい」との指摘は傾聴に値するようと思われる。			
	合計点		117.0 (満点130点)	142.2 (満点=170点)	163.0 (満点=200点)
特記事項 (評価委員会による総合評価を記入)	あいさつ運動による利用者の満足度向上を評価する。学習事業については新規参加者の獲得に加え、参加者のステップアップの場となっている。子どもの居場所づくりにも貢献している。学習支援事業についてはアウトリーチ活動も積極的に行っており、地域住民によるボランティア養成事業、地域企業との連携事業にも工夫が見られる。センター、図書館ともに地域の人材を発掘・活用した講座・事業への取組は素晴らしい。図書館内の利用促進の工夫として、りんごの棚とは別に大人向けのLLブック・大型活字本を車いすでもアクセスしやすい場所に配置した配慮は、特筆に値する。利用状況としては、図書館利用者数が低い数で安定した状況の分析は難しいものであったが、センター全体ではよく活動されたと考える。5カ年計画の主要事業は、複数回開催でただでなく、センターを飛び出し千本桜まつりでの全区的な場での活動につながり発展性があった。とねりマルシェ実行委員会の主体性をサポートする活動は非常に評価できる。				

【評価委員会評価結果】



※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
1-B項目3の駐車場管理における減点事項に対し、駐車場内の段差解消のためのアスファルト再舗装など、改善を求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A+	A	A-	B+	B	B-	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」・・・評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。